

施策評価管理シート

2020(令和2)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	5	快適な生活環境づくり		
	施策	1	住宅・住環境		

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- ユニバーサルデザインの理念に基づき、誰もが快適で安心して暮らせる住まいづくりを促進します。
- 増加する空き家の適正管理及び利活用を促進するとともに、若者世帯の移住定住を促進するための住宅施策に取り組みます。
- 公営住宅法の趣旨にのっとり、真に住宅に困窮する低所得者に対し低廉な家賃で住宅を提供します。
- 市民の生命や財産を守るため、木造住宅の耐震補強等に対し支援を行い災害に強いまちづくりを進めます。

2. 令和元年度の取組内容及びその成果



- ・昭和56年以前の旧耐震制度により建築された木造住宅の耐震診断および耐震補強工事未実施所有者に対し、耐震の必要性や重要性、補助制度の説明を広報誌、ラジオ、新聞等掲載は基より、団地訪問による啓発活動や耐震相談会を開催し耐震化の促進を図っています。
 - 【無料耐震診断】(令和元年度実績)…申込み件数：15件、診断実施件数：15件
 - 【耐震補強設計】(令和元年度実績)…申込み件数：6件、設計実施件数：2件
 - 【耐震補強工事】(令和元年度実績)…申込み件数：6件、工事实施件数：2件
- ・名張市営住宅長寿命化計画に基づき、耐久性向上のための外壁及び屋根の改修工事を継続的に進めている。
 - 【改修工事実績】(令和元年度実績)…1団地2棟6戸の外壁及び屋根改修
- ・住宅確保要配慮者への入居について、セーフティーネット住宅として登録されているビレッジハウス名張北や市営住宅の案内を行い入居の促進を図っています。また新たなセーフティーネット住宅の確保として、空き家の無料相談会において空き家の利活用の一つとして制度の案内を行い住居の確保に向けた取り組みを行っています。相談件数：0件
- ・空き家バンク制度を実施し、情報発信や空き家と移住者等とのマッチングにより空き家等の利活用や流通、移住促進等に寄与しました。
 - 【令和2年3月31日現在…登録物件数：152件、物件成約件数：85件、利用者登録数：209人】
- ・市外からの移住者又は移住子育て世帯向けに空き家等のリノベーション費用の一部を支援することにより、空き家の利活用並びに移住定住の促進を図りました。
 - 【移住促進のための空き家リノベーション支援事業(令和元年度実績)…補助金交付件数：3件、移住者：4人
子育て世帯に対する中古住宅等リノベーション支援事業(令和元年度実績)…補助金交付件数：0件】
- ・住宅タイプ別に指定した各空家等利活用促進地域において、それぞれの地域にあった利活用に関する取り組み等を行い、若者層の移住定住の促進に寄与しました。
 - 【既成市街地タイプ：名張地域、住宅開発地タイプ：桔梗が丘地域、農村・山間集落タイプ：赤目地域】
- ・空き家所有者等が抱える悩みや問題を解消するために、不動産関係団体等と連携し「すまいの活用無料相談会」の開催や電話相談を実施し、空き家の利活用や適正管理を図りました。【相談会来場組数：56組】
- ・移住フェア等において空き家バンク制度や空き家リノベーション支援事業等について情報発信を行い、空き家の利活用並びに移住促進を図りました。
 - 【参加イベント数…市外移住フェア2回、市内(隠街道市、赤目口駅前)2回】
- ・管理不全の空家等に対して適正に管理してもらえるよう条例に基づきお願いや指導等を行い一定の解決を図りましたが、それでもなお対応がなされない危険な空家等については、空き家特措法に基づく特定空家等に認定し、より強制力のある行政処分(勧告等)を行い、住環境の保全を図りました。
 - 【苦情相談件数(令和元年度実績)：203件(うち解決済み123件、対応不要27件含む)
特定空家認定数(令和元年度実績)：1件】

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
安心して暮らし続けることができる住環境にあると感じている市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	60.0	
	成果	54.9	61.0	61.3				100.0%
昭和56年以前建築の木造住宅耐震診断受診率(%)	目標	-	-	-	-	-	23.00	
	成果	18.62	19.22	19.76				26.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・木造住宅耐震診断について、受診率は年々増加はしているものの伸び率は低迷している状況にあります。また診断の結果、耐震性が不足していると判定された建物は、補強設計並びに補強工事を行い安全確保に努めてもらう必要がありますが、所有者の大半は高齢者であり、また、工事費用が高額となる場合が多く、補強工事まで実施されないケースが多いのが現状です。今後も更なる啓発活動と、国や県も含めた必要な財源確保を行い、耐震化における支援を継続していく必要があります。
- ・市営住宅の長寿命化については引き続き計画に基づく改修により、耐久性の向上を図り、既存ストックの有効活用に努める必要があります。
- ・空き家の無料相談会においてセーフティーネット住宅制度の案内を行っていますが相談件数が0件であったことから、空き家・空き室所有者に対して、更なる制度の理解を求めていく必要があります。
- ・異なる住宅タイプ毎に空家等利活用促進地域を指定して、それぞれの地域に合った空き家の利活用に関する取組を行っていますが、進捗が図れない地域については、取組に対する協議、検討・実施する必要があります。
- ・空き家対策の各施策を展開しているものの、直近の土地・住宅統計調査(総務省統計局)において空き家数等が増加しています。
- ・管理不全の空家等所有者に対して条例及び法に基づき指導等を行っているものの対応がなされないものがあり、未解決による対応繰越件数が増えてきています。

事務事業シート

(R.2)No.	1126	(R.1)No.	1126
----------	------	----------	------

事務事業名	木造住宅耐震診断事業		
担当部局名	都市整備部	担当室名	営繕住宅室
		室長名	中西 隆之

会計区分	一般会計	事業コード	421001
款	土木費	(中事業名)※予算書事業名	
項	住宅費	木造住宅耐震事業	
		(小事業名)	
目	住宅総務費	木造住宅耐震診断事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	5 快適な生活環境づくり	
	施策	1 住宅・住環境	名張市建築物耐震改修促進計画
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	地震に強いまちづくりを目指します。		
事業内容	昭和56年5月以前に建築された(着工を含む)木造住宅を対象に無料で耐震診断を実施します。		

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
	主な事業の実績・計画	(制度の普及活動) 市広報掲載 年2回 市ホームページ掲載 1年間 FMなばり放送の活用 年1回 住宅団地の戸別訪問 111件 耐震診断実績 15件	(制度の普及活動) 市広報掲載 年2回 市ホームページ掲載 1年間 FMなばり放送の活用 年1回 住宅団地の戸別訪問 100件 耐震診断予定 30件	耐震化率の向上に向けての制度の普及活動	耐震化率の向上に向けての制度の普及活動	耐震化率の向上に向けての制度の普及活動	

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		723千円		1,470千円	1,470千円	1,470千円	1,470千円
内訳(千円)		524		1,080	1,080	1,080	1,080
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	199	0	390	390	390	390
人工数		0.45人		0.51人	0.51人	0.51人	0.51人
職員							
臨時職員等					0.00人	0.00人	
②概算人件費	0千円	3,375千円	0千円	3,825千円	3,825千円	3,825千円	3,825千円
①+②総事業費	0千円	4,098千円	0千円	5,295千円	5,295千円	5,295千円	5,295千円

事務事業シート

(R.2)No.	1460	(R.1)No.	1460
----------	------	----------	------

事務事業名	空家対策事業		
担当部局名	都市整備部	担当室名	営繕住宅室空き家対策担当
		室長名	中嶋優子

会計区分	一般会計	事業コード	422701
		(中事業名)※予算書事業名	
款	土木費	空家対策事業	
項	住宅費	(小事業名)	
目	住宅総務費	空家対策事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	5 快適な生活環境づくり	
	施策	1 住宅・住環境	名張市空家等対策計画
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	若者等が安心して住み、子育てができる住環境の創出と、地域コミュニティの活性化、まちづくり活動の促進を図ることを目的とします。
事業内容	空家等の積極的な活用と危険な空家等の除却を行なうなど、空家等がもたらす問題に総合的に対応していきます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		
	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理 ・空き家バンクの運営、普及・啓発 ・空き家コーディネート業務委託 ・空家等の適正管理の促進 ・空家データベースの更新 ・特定空家等除却費補助事業(新規)実績 2件			空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理	

	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費	0千円	3,028千円	0千円	14,304千円	12,100千円	12,100千円	12,100千円
内訳(千円)							
国・県支出金		377		2,696	1,577	1,577	1,577
地方債							
その他(弁償金・繰入金)		1,372		6,000	6,000	6,000	6,000
一般財源	0	1,279	0	5,608	4,523	4,523	4,523
人工数							
職員	0.00人	2.10人	0.00人	1.70人	1.70人	1.70人	1.70人
臨時職員等	0.00人	0.48人	0.00人	0.48人	0.48人	0.48人	0.48人
②概算人件費	0千円	16,662千円	0千円	13,662千円	13,662千円	13,662千円	13,662千円
①+②総事業費	0千円	19,690千円	0千円	27,966千円	25,762千円	25,762千円	25,762千円

事務事業シート

事務事業名	木造住宅耐震補強事業		
担当部局名	都市整備部	担当室名	営繕住宅室
		室長名	中西 隆之

(R.2)No.	3067
----------	------

(R.1)No.	3067
----------	------

会計区分	一般会計	事業コード	421002
		(中事業名)※予算書事業名	
款	土木費	木造住宅耐震事業	
項	住宅費	(小事業名)	
目	住宅総務費	木造住宅耐震補強事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	5 快適な生活環境づくり	
	施策	1 住宅・住環境	名張市建築物耐震改修促進計画
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	地震に強いまちづくりを目指します。
事業内容	<p>①耐震補強補助(新制度) 補強工事の設計費の1/3(上限8万円)、補強工事費の2/3(上限60万円)+2/5(上限50万円)(住宅耐震診断で評価0.7未満の住宅について、1.0以上にする耐震補強工事が対象)②リフォーム工事補助 リフォーム工事費の1/3(上限20万円)を補助 (耐震補強工事と同時にリフォームを行うことが条件)</p>

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		
		耐震補強設計補助 実績：2件 耐震補強工事補助 実績：2件 リフォーム工事補助 実績：2件 耐震補強工事説明会及び相談会	耐震補強設計補助 予定：5件 耐震補強工事補助 予定：5件 リフォーム工事補助 予定：5件 耐震補強工事説明会及び相談会	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)
			名張市建築物耐震改修促進計画に基づく耐震化率を目標とし、耐震化に努めます。	名張市建築物耐震改修促進計画に基づく耐震化率を目標とし、耐震化に努めます。	名張市建築物耐震改修促進計画に基づく耐震化率を目標とし、耐震化に努めます。

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		2,767千円		6,921千円	6,921千円	6,921千円	6,921千円
内訳(千円)		2,083		5,210	5,210	5,210	5,210
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	684	0	1,711	1,711	1,711	1,711
人工数		0.45人		0.46人	0.46人	0.46人	0.46人
職員							
臨時職員等					0.00人		
②概算人件費	0千円	3,375千円	0千円	3,450千円	3,450千円	3,450千円	3,450千円
①+②総事業費	0千円	6,142千円	0千円	10,371千円	10,371千円	10,371千円	10,371千円

事務事業シート

(R.2)No.	3203	(R.1)No.	3203
----------	------	----------	------

事務事業名	空家リノベーション支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	當繕住宅空き家対策担当	中嶋優子	

会計区分		事業コード	422601
一般会計		(中事業名)※予算書事業名	
款	土木費	空家リノベーション支援事業	
項	住宅費	(小事業名)	
目	住宅総務費	空家リノベーション支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	5 快適な生活環境づくり	
重点プロジェクト	施策	1 住宅・住環境	名張市空家等対策計画
		2.若者定住プロジェクト	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
移住に伴う移住者の自己負担を低減することにより、市外からの移住を促進するとともに、空き家の利活用も促進します。
事業内容
○市内の空家住宅等を住宅としてリノベーションする際の工事費用の3分の1以内を補助します。 【上限額】 ・移住促進のための空家リノベーション支援事業：100万円 ・子育て世帯に対する中古住宅等リノベーション支援事業：80万円 (ただし、空き家バンク利用の場合は100万円)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)			R.4年度(事業計画)		R.5年度(事業計画)	
	主な事業の実績・計画	○補助金の交付により、移住定住及び空家等の利活用を促進する。 ・移住促進のための空家リノベーション支援事業 補助実績：3戸 移住者数：4名 ・子育て世帯に対する中古住宅等リノベーション支援事業 補助実績：0戸		○補助金の交付により、移住定住及び空家等の利活用を促進する。 ・移住促進のための空家リノベーション支援事業 目標：3戸 ・子育て世帯に対する中古住宅等リノベーション支援事業 目標：3戸		○補助金の交付により、移住定住及び空家等の利活用を促進に努める。			○補助金の交付により、移住定住及び空家等の利活用を促進に努める。		○補助金の交付により、移住定住及び空家等の利活用を促進に努める。

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費	0千円	1,476千円	0千円	6,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金		738		3,250	5,000	5,000	5,000
地方債							
その他(繰入金)		738		2,750			
一般財源	0	0	0	0	5,000	5,000	5,000
人工数							
職員		0.60人		0.60人	0.60人	0.60人	0.60人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	4,500千円	0千円	4,500千円	4,500千円	4,500千円	4,500千円
①+②総事業費	0千円	5,976千円	0千円	10,500千円	14,500千円	14,500千円	14,500千円

事務事業シート

(R.2)No.	4032	(R.1)No.	4032
----------	------	----------	------

事務事業名	公営住宅整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	営繕住宅室	中西 隆之	

会計区分		事業コード	422002
一般会計		(中事業名)※予算書事業名	
款	土木費	公営住宅整備事業	
項	住宅費	(小事業名)	
目	住宅事業費	公営住宅整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	5 快適な生活環境づくり	
	施策	1 住宅・住環境	名張市営住宅等長寿命化計画
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
長寿命化計画の策定により既存市営住宅等耐久性向上のための適正管理及び名張市が地域の实情に応じた独自の住宅政策の実現を目指します。
事業内容
長寿命化計画に基づく市営住宅の改修工事。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
		市営住宅長寿命化事業(工事) ・一ノ井市営住宅屋根・外壁 改修 2棟(6戸) 比奈知市営住宅農集排接続に伴う 設計業務委託 外壁吹付材調査業務 1棟	市営住宅長寿命化事業(工事) ・比奈知市営住宅農集排接続工事 3棟(18戸) 夏見市営住宅公共下水道接続に伴う 設計業務委託 外壁吹付材調査業務 1棟(2検体)	社会資本整備総合交付金(地域住宅計画) 公営住宅等長寿命化計画に基づき維持管理・改修を行う	社会資本整備総合交付金(地域住宅計画) 公営住宅等長寿命化計画に基づき維持管理・改修を行う

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		21,246千円		30,639千円	71,118千円	25,508千円	23,864千円
内訳(千円)							
国・県支出金		9,798		14,821	34,750	12,744	11,822
地方債		11,400		14,800	34,700	12,700	11,800
その他()							
一般財源	0	48	0	1,018	1,668	64	242
人工数							
職員		0.36人		0.51人	0.51人	0.51人	0.51人
臨時職員等					0.00人		
②概算人件費	0千円	2,700千円	0千円	3,825千円	3,825千円	3,825千円	3,825千円
①+②総事業費	0千円	23,946千円	0千円	34,464千円	74,943千円	29,333千円	27,689千円

事務事業シート

(R.2)No.	4421	(R.1)No.	4421
----------	------	----------	------

事務事業名	市営住宅整備事業		
担当部局名	都市整備部	担当室名	営繕住宅室
		室長名	中西 隆之

会計区分	一般会計	事業コード	422301
		(中事業名)※予算書事業名	
款	土木費	市営住宅整備事業	
項	住宅費	(小事業名)	
目	住宅維持費	市営住宅整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	5 快適な生活環境づくり	
	施策	1 住宅・住環境	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	火災により住宅の一部が損傷し、復旧工事を行うことにより周辺の住環境を改善する。
事業内容	市営住宅の復旧工事(1棟2戸の内の1戸) ※R1年度にて終了

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
	火災跡復旧工事(その2) ※火災跡の復旧工事を2か年に分けて実施 H30年度に「その1」(住戸内火災跡部分の撤去解体)を実施し、R1年度は住宅内部の復旧工事を実施。				

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		6,270千円					
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(雑入)		6,270					
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数		0.10人					
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	750千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	7,020千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

事務事業シート

(R.2)No.	5035	(R.1)No.	5035
----------	------	----------	------

事務事業名	住宅維持費		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	営繕住宅室	中西 隆之	

会計区分		事業コード	421501
一般会計		(中事業名)※予算書事業名	
款	土木費	住宅維持費	
項	住宅費	(小事業名)	
目	住宅維持費	住宅維持費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	5 快適な生活環境づくり	
	施策	1 住宅・住環境	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
公営住宅の適切な維持管理を目指します。
事業内容
市営住宅等の維持管理 指定管理者による市営住宅等の管理 指定管理者:伊賀南部不動産事業協同組合
住宅一般修繕 住宅入退居修繕 住宅設備管理及び保守点検等 他

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
	主な事業の実績・計画	指定管理者制度を活用した市営住宅等の管理運営 住宅管理システム等賃貸借等	指定管理者制度を活用した市営住宅等の管理運営 住宅管理システム等賃貸借等	指定管理者による市営住宅等管理	指定管理者による市営住宅等管理	指定管理者による市営住宅等管理	指定管理者による市営住宅等管理

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		39,998千円		42,795千円	42,795千円	42,795千円	42,795千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(使用料等)		29,068		28,831	28,831	28,831	28,831
一般財源	0	10,930	0	13,964	13,964	13,964	13,964
人工数							
職員		0.23人		0.27人	0.27人	0.27人	0.27人
臨時職員等		0.40人			0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	2,485千円	0千円	2,025千円	2,025千円	2,025千円	2,025千円
①+②総事業費	0千円	42,483千円	0千円	44,820千円	44,820千円	44,820千円	44,820千円

事務事業シート

(R.2)No.	5164	(R.1)No.	5164
----------	------	----------	------

事務事業名	借上型市営住宅事業		
担当部局名	都市整備部	担当室名	営繕住宅室
		室長名	中西 隆之

会計区分	一般会計	事業コード	421601
		(中事業名)※予算書事業名	
款	土木費	借上型市営住宅事業	
項	住宅費	(小事業名)	
目	住宅維持費	借上型市営住宅事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	5 快適な生活環境づくり	
	施策	1 住宅・住環境	老朽化した市営住宅の整備方針
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	住宅整備に伴うユニシャルコスト及びランニングコストの財政負担の軽減を目指す。また、既存民間賃貸住宅の入居状況を見ながら公営住宅としてのストック数を確保します。
事業内容	老朽化した市営住宅の整備方針により、耐用年数を超過した老朽6団地(栄町、朝日町、平尾、丈六、柏原、新田)の用途廃止(解体除却)に伴う代替住宅の整備を継続して既存民間賃貸住宅の借上げ方式により行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)			R.4年度(事業計画)			R.5年度(事業計画)		
主な事業の実績・計画	住宅借上げ(駐車場の賃貸借) 3棟28戸 ・市営住宅ハイツエイブリッジ 1棟8戸 ・市営住宅アドラブル 1棟12戸 ・市営住宅コーポジョイフル 1棟8戸		住宅借上げ(駐車場の賃貸借) 3棟28戸 ・市営住宅ハイツエイブリッジ 1棟8戸 ・市営住宅アドラブル 1棟12戸 ・市営住宅コーポジョイフル 1棟8戸		朝日町・赤目・鴻之台の住宅借上げ料			朝日町・赤目・鴻之台の住宅借上げ料			朝日町・赤目・鴻之台の住宅借上げ料		

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		14,615千円		14,688千円	14,688千円	14,688千円	14,688千円
内訳(千円)							
国・県支出金		3,352		3,367	3,367	3,367	3,367
地方債							
その他(使用料)		5,821		6,037	6,037	6,037	6,037
一般財源	0	5,442	0	5,284	5,284	5,284	5,284
人工数							
職員		0.25人		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等		0.01人					
②概算人件費	0千円		0千円	2,250千円	2,250千円	2,250千円	2,250千円
①+②総事業費	0千円	#VALUE!	0千円	16,938千円	16,938千円	16,938千円	16,938千円